

令和6年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

学校教育専攻

沖縄県内地域指定推薦

共通問題

一般推薦

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで以下の各問に答えなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

(谷口 隆,『子どもの算数、なんでそうなる?』,岩波書店,2021年, iii ページ,
65~70 ページ, 127~133 ページ, 抜粋・一部改変)

注釈

*1) 原文では「事件」を4つ紹介しているが、本問題文では4つのうち1つを取り上げて
いる。

*2) 水につける。うるおす。

- 問 1 下線部「誤りは宝物」とはどのような意味か，本文に挙げられた「11 時の 1 分前事件」の例を適宜使って 300 字以上，400 字以内で説明しなさい。
- 問 2 算数における誤りについて，あなたはどのように考えますか。本文の内容を踏まえて 800 字以上，1,000 字以内で具体的に論じなさい。

令和6年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

学校教育専攻

沖縄県内地域指定推薦

共通問題

一般推薦

出題の意図

教育学部では、アドミッション・ポリシーに基づき、(1)教員として主体性をもち、子ども及び社会と関わっていきたい人、(2)教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人、(3)高等学校での基礎学力を身に付け、思考力・判断力・表現力をもつ人、(4)沖縄の歴史的・環境的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人材を求めている。

本出題文は、数学者である筆者が、子どもと一緒に算数を考えるエピソードについて取り上げ、「誤り」が子どもの学びの中で果たす役割の重要性について指摘した文章である。

問1は、筆者の主張の根幹である「誤りは宝物」という考え方について、出題文の趣旨をきちんと把握できているかを問う。

問2は、出題文の趣旨を踏まえて、筆者の誤りに対する考え方とこれまで受験生自身が経験してきた算数における誤りについての考えを問うことで、具体的な教育場面をイメージできるかを評価する。

これらの問いを通じ、学校教育専攻のアドミッション・ポリシーを踏まえて、(1)教育や子どもに対する知識・理解、(2)小学校教員として必要な思考力・判断力・表現力、(3)小学校教育に対する意欲・関心をみる。